



賞者は7月末に発表する。同社は「IoTという言葉を通じて、ものづくりの現場に起きている変革や未来について多くの人が知るきっかけになれば」としている。

業務用ソフトウェア開発のテクノア（岐阜市本荘中ノ町、山崎耕治社長）は、4コマ漫画の最後のせりふを大喜利形式で公募する企画「オチを決めるのは君だ！ 第1回ものづくり大喜利グランプリ」を開催している。

「なんでもI・O・T時代」がテーマの4コマ漫画の「オチ」のせりふを募り、優れた作品を表彰する。「モノのインターネット」というI・O・T本来の意味にとらわれることなく、自由な発想で考えたI・O・Tの意味を募集する。漫画は、ものづくりや工場を取り上げた作品を多く描いている見ル野栄司さんが作画し、審査委員も務める。

6月30日まで、同社ホームページ内の応募フォームで受け付ける。10個の賞を設け、最優秀の大賞受賞者には3万円分の商品券と見ル野さんのサイン色紙が贈られる。受賞者は7月末に発表する。同社は「IoTという言葉を通じて、ものづくりの現場に起きている変革や未来について多くの人が知るきっかけになれば」としている。